

エコ〜つうしん

平成21年(2009)3月12日 編集発行：出雲市役所環境保全課 (TEL21-6535 FAX21-6597)

子どもたちのエコ発信

1月25日、川跡コミュニティセンターでエコまつりが開催されました。

まつりは、エコな暮らしの紹介と廃油を使ったアロマキャンドル作りなどの体験コーナー、グッズの販売やフリマなどが行われました。また、出雲第三中学校の科学部によるEMを使った河川水質の追跡調査と生き物調査についての発表や、北陽小学校5年生による北山の鹿の生態と被害状況の研究発表がありました。

今回のエコまつりでは、そのほとんどを地区の小中学生が企画、運営しました。大勢のお客さんで賑わい、豚汁も振る舞われましたが、マイはしマイわんの持参が周知されていて、ほとんどごみが出ませんでした。

この活動の中で、子どもたちは実際に見て聞いたり、環境問題を身近に考えるきっかけとなったようです。また、自分ができることを一つでもやるうという意欲に満ちた顔は、

今年度最終の環境新聞「エコ〜つうしん第12号」です。

この時期、入進学、転勤などで出雲市を離れる方も多く、思います。ごみ分別収集方法は自治体ごとに異なります。慣れるまでは大変でしょうが、どこに行ってもきちんとして分別し、地球環境に優しい生活が心がけてください。

EcoVILLAGE

環境を守る人へ



出雲市美化推進員 副会長 古島 忠衛さん

環境特派員レポート

古島さんは、ポイ捨て禁止のロゴがプリントされたジャンパーを着て、元気に日御碕海岸をパトロールされています。また、環境省自然公園指導員や大社セーフティ推進委員なども兼務し「地域のため」幅広く活動しておられます。

古島さんがお住まいの日御碕は、全国でも有数の釣りのメッカですが、タバコの吸殻、弁



北陽小学校5年生による「未来へつなごう命はくくむ北山」と題して、北山に生息する鹿との共生について発表しました

まぶしくとても新鮮でした。環境を考える取り組みは、いろいろな場所で行われています。ごみの分別やものを節約することにストレスを感じて、安易にごみを出してしまうことが多く、ごみの回収量は増えるばかりです。

次の世代の子どもたちが、小さい時から環境問題を考えたり、マイはしやマイわんを持参してごみを出さない活動をしたりすることによって、「エコに暮らす」意識が少しずつではありますが芽生えてくると感じています。

川跡コミュニティセンターのような、子どもたちと一緒にできる「エコまつり」がいろいろなところで開催されることにより、エコな環境がもつと広がるのではと感じました。

(坂本特派員)

エコ〜な本の紹介

「トキのキンちゃん」

いもとようこ/作・絵
岩崎書店/発行

昔は日本中のどこでも見られた「ニッポニア・ニッポン」の学名を持つ「トキ」は、乱獲や農薬によって数を減らしていきました。その最後の一羽となった「キンちゃん」と人間・宇治さんと心の交流を描いた感動の実話です。

〜立つ鳥、跡を濁さず〜

春は進学、就職や転勤などの季節で、引越しの準備や片付けは大変です。そこで必ず出てくるのがゴミや不用品。捨てる前に次のことを試してみませんか。

- ① 不用になった衣類は切ってぞうきん代わりに使う。
- ② 荷物を梱包するときの隙間に、市販の緩衝材ではなく、タオルやふきんなどを利用する。
- ③ 使っていない内祝品などはリサイクルショップへ。また、お友達などに差し上げてみては。
- ④ 不用になった書類や雑誌などはリサイクルへ。
- ⑤ 意外と忘れがちな冷蔵庫。引越しが決まったら食品を上手に消費するよう工夫する。

立つ鳥跡を濁さず、気持ちよく新生活をスタートさせてくださいね。また、自治体によってゴミの分別方法は異なりますが、引越した先でもゴミを減らす工夫とゴミ分別を忘れないでくださいね。(今岡特派員)

当の残飯や釣り道具などを捨てて帰る釣り客のマナーの悪さを目の当たりにし、日御碕の景観や環境を守るため活動を始められました。

また、釣り客だけではなく、日御碕海岸に自生する貴重な植物の黒松やヒメズリハなどを掘って持ち帰る心ない人たちに目を光らせています。

古島さんは、地域での環境美化やマナー向上の啓発活動だけではなく、釣りや植物などの愛好家たちはもとより、学校を始め社会全体で、環境・自然保護の教育の必要性を強調しておられました。

(村上特派員)

見学済自然の大切さ

水鳥ウオッチング



神西湖に浮かぶ水鳥を熱心に観察する親子連れ

「故郷の自然の素晴らしさを知ってもらおう」と湖陵コミュニティセンター青少年部が、1月に「神西湖いきいきバードウオッチング」を開催しました。

市内外から親子連れなど約30人が訪れ、湖上で羽を休めるマガモやオオバン、コハクチョウといった水鳥たちの様子を双眼鏡などを使って熱心に観察していました。

この活動は約10年前から毎年行われていますが、指導してくださった島根県自然解説員さんによると「昔に比べて水鳥の数が減ってきている。昨年は3000羽位飛来していたが、今年は、種類は多いが数百羽だろう。水辺の環境の変化に問題があるとはいきませんが…」とお話されました。

このように美しい鳥たちが訪れる環境をいつまでも大切にしていきたいと思われました。

また、これとは別に3月下旬には、湖陵地区、神西地区で、神西湖の一斉清掃が行われることになっており、ボランティアの参加を呼び掛けています。詳しくは各コミュニティセンターにご確認ください。

(山崎特派員)

収集券は4種類あります

(拡大図)

旧ごみ収集券の見本

ここに金額表示40円または500円があるものが旧ごみ収集券です。(新しいものは表示がありません)

旧ごみ収集券の使用有効期限についてご確認ください

出雲市はごみ収集手数料の改定を行い、これに伴い平成20年4月にごみ収集券を変更しました。手数料改定前に購入された旧ごみ収集券は、平成21年4月1日以降は使えなくなります。

平成21年4月以降に旧ごみ収集券(1枚40円と500円)がお手元に残っている場合には、同額のごみ袋・収集券と交換しますので、お早めに市役所本庁5階 資源リサイクル課および各支所担当課までお持ちください。

おたずね/資源リサイクル課 (☎216988)

○ 交換できる例

- ・40円の収集券5枚⇒500円の収集券4枚
- ・40円の収集券1枚⇒出雲市指定リサイクルの袋(大)4枚
- ・500円の収集券1枚⇒出雲市指定家庭用可燃ごみの袋(大)10枚
- ・500円の収集券2枚⇒粗大ごみ収集券1枚 など

× 交換できない例

- ・40円の収集券1枚⇒500円の収集券1枚
- ・500円の収集券1枚⇒1,000円の収集券1枚
- ・40円の収集券1枚と10円⇒500円の収集券1枚 など